

大学の授業について

# 大学生生活の大まかな流れ



【履修登録】 (4月1週目)

履修登録については後ほど説明します  
大学生生活は概ね半年で1周します

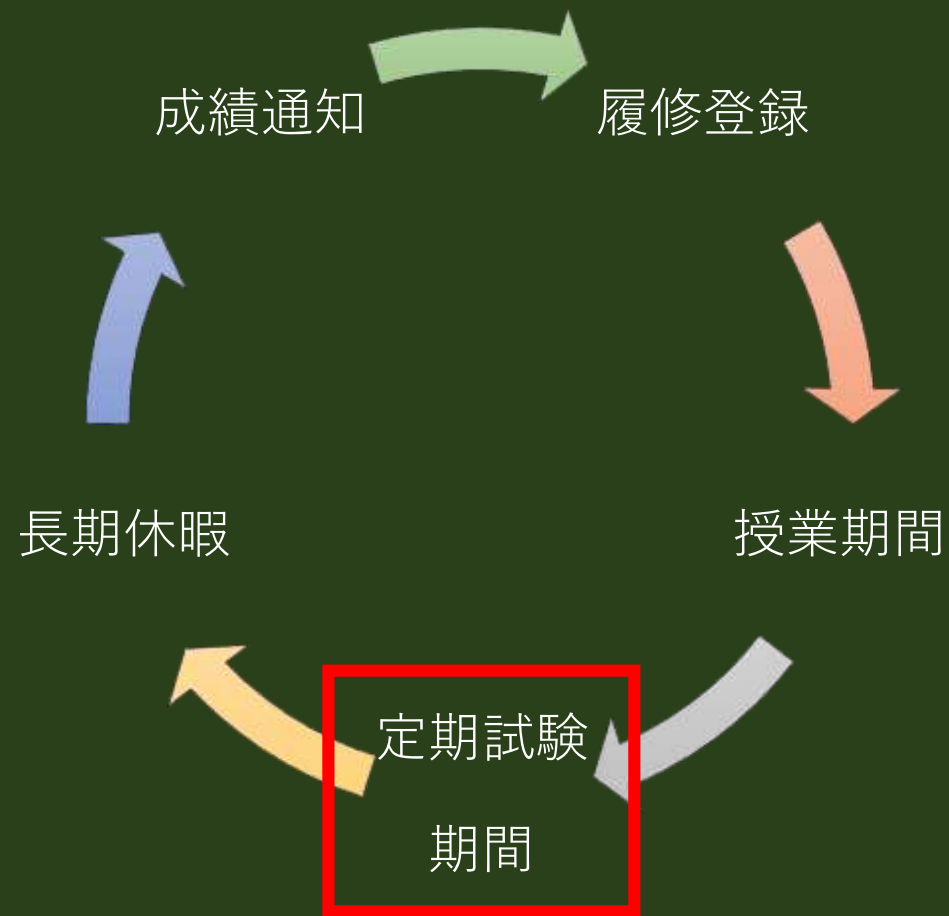
# 大学生生活の大まかな流れ



**【授業開始】** (4月2週目前後)

授業に出席して学修しましょう  
土曜日に補講がある場合もあります

# 大学生生活の大まかな流れ



**【定期試験期間】** (7月末～8月初旬)  
定期試験実施科目はこの期間に実施します  
この期間に補講が行われる場合もあります

# 大学生生活の大まかな流れ



**【長期休暇】** (8月2週目～)

定期試験・補講の無い方は7月末から長期休暇になります

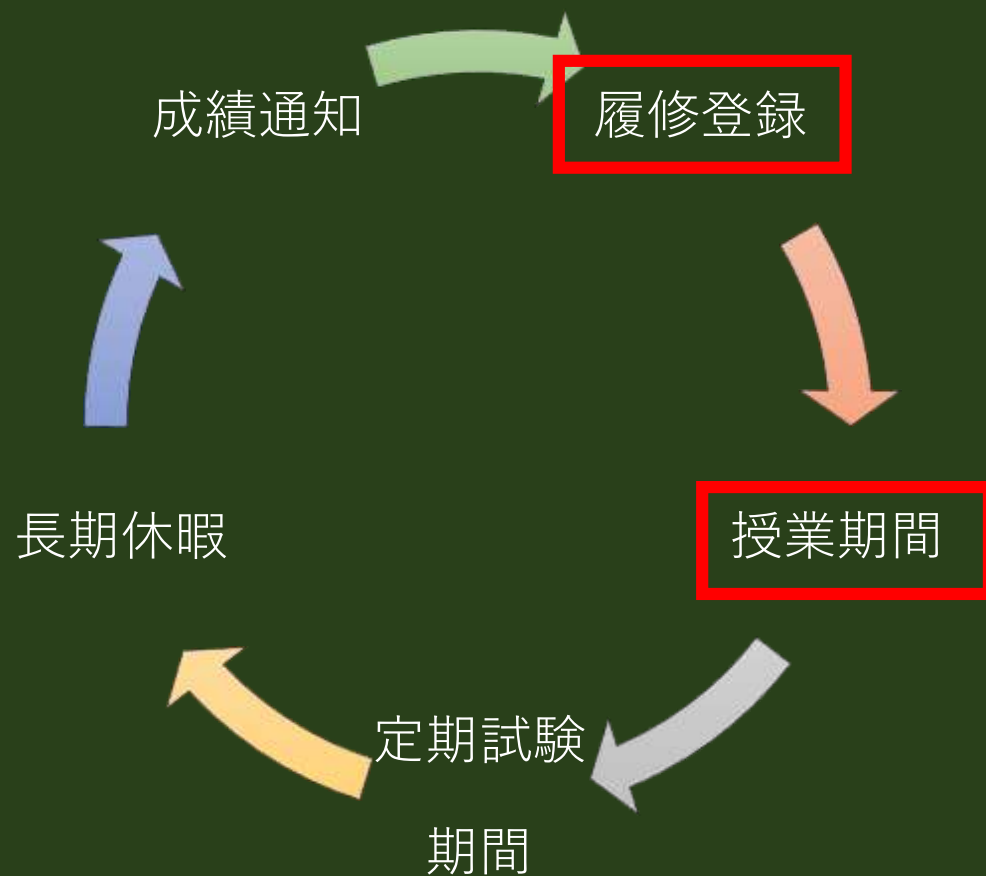
# 大学生生活の大まかな流れ



**【成績通知】** (9月中旬)

UNIPANDAで成績が公開されます。

# 大学生生活の大まかな流れ



【履修登録検討期間】 (9月下旬～)

【後期授業開始日】 (9月下旬～)

後期は授業開始と同時に履修変更期間が始まります

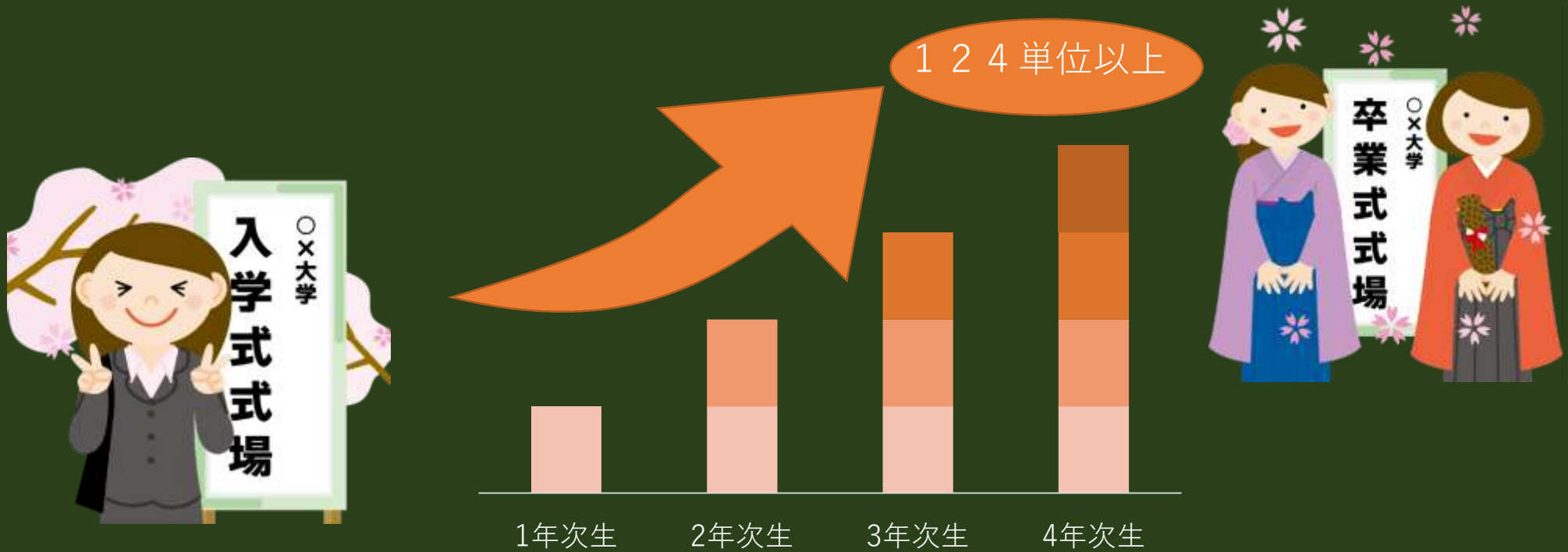
# 履修登録に必要な知識



- 履修登録とは？
- 単位とは？
- 履修とは？
- カリキュラムとは？



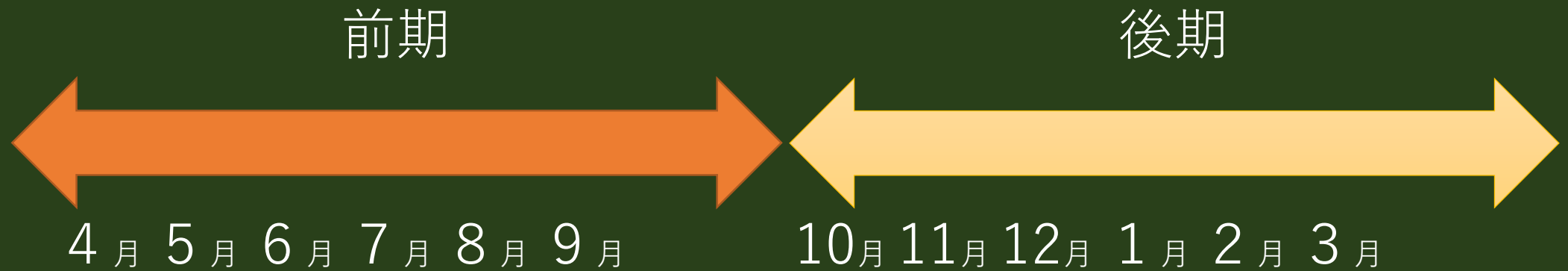
# 授業科目・単位とは？



本学を卒業するためには、授業科目を履修し、単位を修得する必要があります。

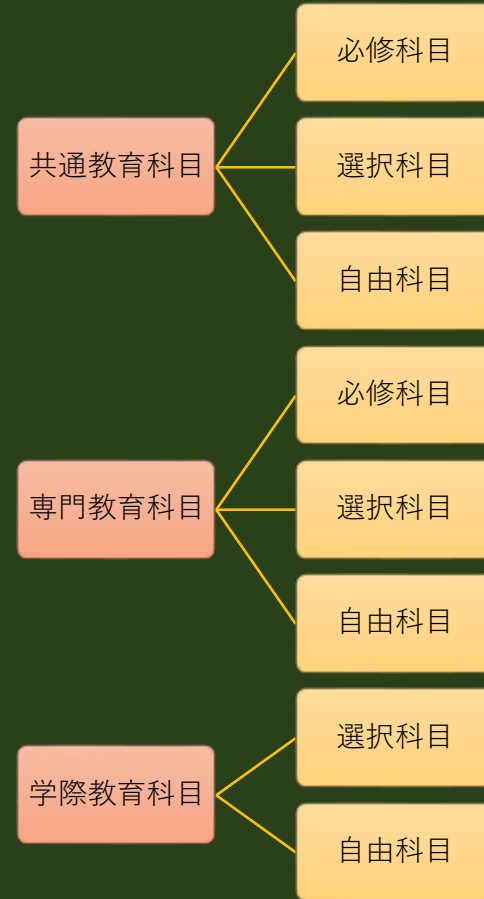
卒業のために必要な単位数は1 2 4 単位以上ですが、学部学科ごとに履修しなければならない科目が細かく決まっています。

# 履修登録とは？



年度の始めに 1年間（前期・後期とも）に履修する科目を届け出る手続き のことです。

# どの科目を履修してもいいの？



大学の科目は上のように区分されています  
どの科目を履修しても卒業できるわけではありません

# どの科目を履修するの？

- 詳しい科目についてはオリエンテーションの中で説明をします
- ここでは大学生活の流れと履修登録について大まかに説明します

卒業に必要な単位数は124単位！



前期62単位！後期62単位！

1年で124単位修得だから1年で卒業できる！

……ということはありません

通年 4 6 単位

C A P  
(履修登録上限単位数)

前期 2 6 単位

後期 2 6 単位



- 大学では1年間に履修できる単位数の上限を定めています
- その履修可能な履修登録単位数をCAPと呼びます
- CAPの範囲内で1年間に履修する科目を計画していきましょう

# C A P

(履修登録上限単位数)



- CAPに含まれる科目とCAPに含まれない科目があります。
- CAPに含まれない科目
  - 他の大学又は短期大学との協定に基づき、履修する科目  
(大学コンソーシアム京都、京都工芸繊維大学、放送大学、清泉女子大学 等 → 詳細は学生便覧87～88ページ参照)
  - 海外研修等通常の時期に履修登録できない科目
- CAPに含まれる科目
  - 上記以外の科目

# C A P

(履修登録上限単位数)

通年 46 単位  
+ 4 単位

前期 26 単位  
+ 4 単位



後期 26 単位  
+ 4 単位

- 優秀な成績を修めると翌年度は履修上限が増えます
- GPAが3.0以上の成績がその基準です (2024年4月1日現在)  
※GPAについては後ほど説明します



# じゃあ上限一杯の46単位にしよう！

としてしまうと・・・

予習・復習・課題で毎日が辛い・・・

定期試験が同じ日に5科目もある・・・

レポート締切まであと1日なのに定期試験の勉強で1行も書けてない・・・



結局1科目も単位を修得できなかった・・・

成績が悪く留学(奨学金)が・・・

## なんてことがあります！

# 無理をしない履修計画を組もう

平均履修登録単位数  
44単位



平均修得単位数  
39単位

- 過去の1年次生の平均履修登録単位数、平均修得単位数を見ると**約5単位分**の科目を修得できていません
- 確実に単位を修得するためには**学修時間を確保**しなければなりません。
- そのため、40単位前後の履修登録がオススメです！

# なぜ40単位前後？


## 【大学設置基準より抜粋】

(単位)

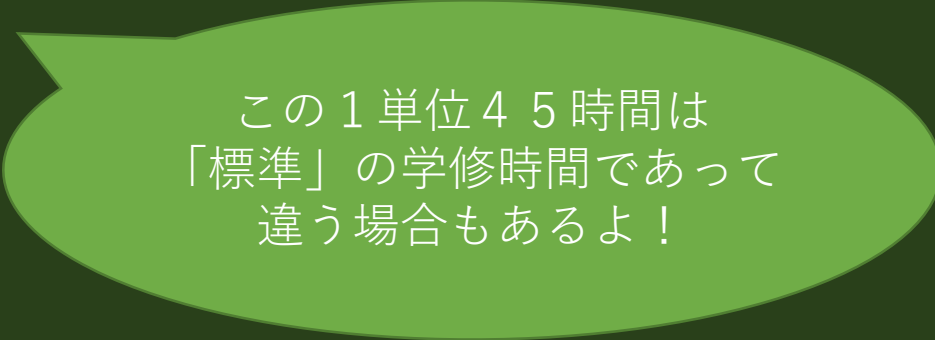
第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(以下略)



大学で1単位を修得するためには45時間、2単位だと90時間学修する必要があります。



この1単位45時間は「標準」の学修時間であって違う場合もあるよ！

# 2単位 = 90時間、その内訳は？

- 大学では90分の授業は2時間の学修と、みなします。
- それが15回あるので授業時間は  
2時間 × 15回 = 30時間 となります。
- 授業時間 + 予習復習 = 2単位  
↓ 90時間にするためには・・・  
30時間 + **60時間** = 90時間 となります。



■ 授業以外の学修時間 ■ 授業時間

2単位修得するには授業30時間以外に**予習復習60時間**が必要となります！

# 要するに？

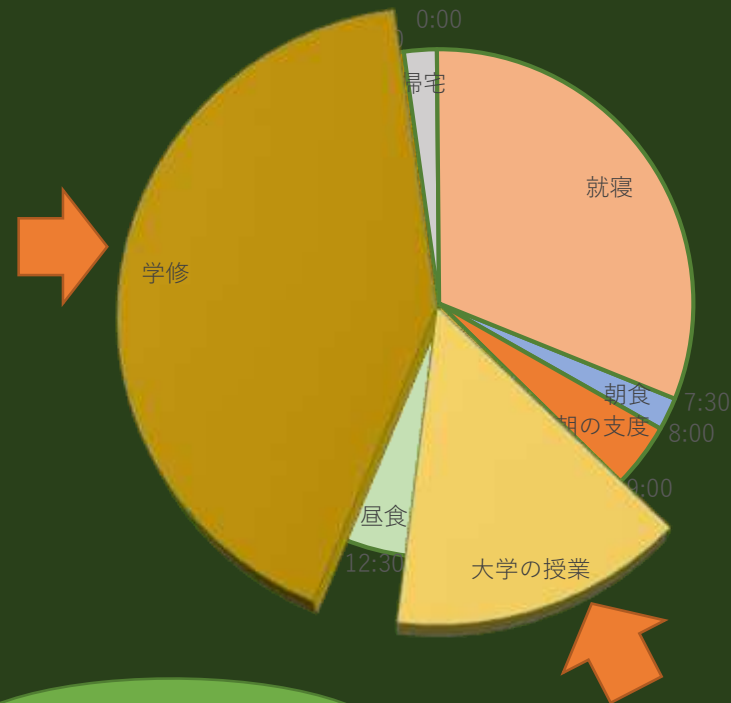
- 半期で20単位履修し、2コマ授業がある日の予定

学修時間を確保するために、登録の上限単位数が定められています。

適切な学修時間の確保と日常生活における予定の適切な時間配分のために・・・

履修登録の単位数には要注意！

(学修時間確保のために寝れない日々が続くかも・・・)



授業4時間と  
予習復習8時間

平日は授業とあわせて12時間学修が必要になります。  
24時間のうち12時間を学修時間とすると、他のスケジュールを12時間でこなすということ。

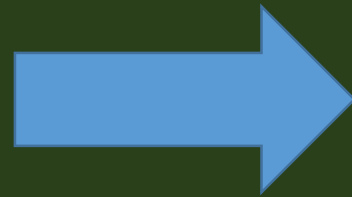
# 成績評価について



- 成績評価は筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度などで行われます
- 成績の評点は100点を満点で、60点以上が合格となります。

# 成績評価について

※学生便覧27ページ参照



成績評点等	評 価
90点以上	秀 (A)
80～89点	優 (B)
70～79点	良 (C)
60～69点	可 (D)
59点以下	不可
評価なし	/ (試験欠席、出席日数不足など)

( )内は  
英語表記

- 成績通知書では成績評点等を秀・優・良・可・不可・/などの評価に換算します
- 前期科目は9月中旬、後期・通年・集中科目は3月中旬にUNIPANDAで確認できるようになります

# G P A について

※学生便覧28ページ参照



- Grade Point Averageの頭文字を取ったものです
- 成績評価に応じた得点 = GP(GradePoint、0～4の5段階)を総履修単位数で割って1単位当たりの平均値を出したものです
- G P A は履修指導や留学、奨学金などに使われます



# GP Aについて

※学生便覧28ページ参照

	成績評点 (100点満点)	成績通知・成績証明の評価		GP	証明書 の記載
			英語表記		
合格	90～100	秀	A	4	する
	80～ 89	優	B	3	する
	70～ 79	良	C	2	する
	60～ 69	可	D	1	する
	他大学で修得した 単位等	認	T	対象外	する
	素点評価しない科目	合格	P	対象外	する
不合格	59以下	不可		0	しない
	評価なし (放棄・試験欠席など)	/		0	しない
	再履修した場合、その科目 の過去の(不合格の)成績	(元のまま 残る)		対象外	しない
	履修中止した場合	履修中止		対象外	しない



- 計算方法は成績評価をGPへ換算して計算します

$$4 \times \text{「秀」} + 3 \times \text{「優」} + 2 \times \text{「良」} + 1 \times \text{「可」}$$

総履修単位数 (「不可」「/」も含む)

# ここでのまとめ

- 卒業に必要な単位数は124単位以上
  - 学部学科ごとに履修しなければならない科目が決まっています。
  - 履修単位数の上限は前期26単位、後期26単位、通年46単位です。
  - GPAは留学や奨学金、履修指導に使われます
- ※特に留学や奨学金を考えている方は計画的に履修しましょう！

おわり